

文化芸術の力を活かした「美の滋賀」づくり

ー県民や関係者とともに「美の滋賀」の土壌をつくり、活動を活発化させる取組についてー

1. 県民や関係者とともに「美の滋賀」の土壌をつくり、活動を活発化させる取組について

滋賀県では、多くの県民が滋賀の美の魅力を知り、楽しみ、そのつながりの中で美が生み出され、育まれ、守られることにより、県民の誇りとして社会や日常の暮らしに美が満ち溢れている、そのような地域の姿(「美の滋賀」)をつくり、豊かさを実感できる滋賀の実現を目指している。また、このような地域の姿(「美の滋賀」)を県内外に発信していくことで、滋賀のブランド力を高め、多くの方々に来訪していただき、地域の活性化を図ることとしている。

「美の滋賀」づくりの進め方として、次の3つの取組の柱を基に県民や民間団体などが主役となって活躍いただけるよう取り組んでいる。

- ・県民や関係者とともに「美の滋賀」の土壌をつくり、活動を活発化させる
- ・新生美術館をつくり、地域や現場と交流しながら受発信する
- ・滋賀の「美」の魅力を県民自らが伝える舞台をつくる

この中で、「県民や関係者とともに『美の滋賀』の土壌をつくり、活動を活発化させる」においては、①まず滋賀の美に関わる全体を把握した上で、②そうした情報を活用しながら、地域の魅力を引き出し発信していく取組を進めるとともに、③地域だけでない新たな集まり(誰もが関わり、つながれる「座」)が形成されていくような取組を実施している。

2. 具体的な取組

① 滋賀の美の全体像の把握

- 地域の美に関わる実態を把握するとともに、この情報を活用して、県民の「美の滋賀」づくりへの参画を促すため、県民参加により「美の滋賀」を発信する印刷物を作成し、県内外でのイベントや展覧会、会議等で配布。

・県民から身の回りのすばらしい「美」の情報を収集し、滋賀の「美」に関するもの、こと、人、場所等の情報をまとめて紹介する「美の滋賀Mandala」



・地域の「美」にかかわる人々の活動を紹介する「『美の滋賀』ポケットファイル」



・「美の滋賀」の取組を紹介する写真や「美の滋賀」コーディネーターと関係者との対談、「美の滋賀」の取組に関わる人々を紹介する記事を掲載する「美の滋賀 guidebook」



・滋賀県のアール・ブリュットと歴史、県内を中心とした作家や作品、アール・ブリュットに関する施策等を紹介する「アール・ブリュット ガイドブック」



・広報誌「滋賀プラスワン」や「美の滋賀」地域づくりプロジェクトフェイスブック等を通じて、「美の滋賀」のコンセプトや関連プロジェクト、「美の滋賀」の拠点となる新生美術館に対する声などを紹介



- 県内の障害のある人が制作した造形作品を公募し、展示する「ぴかつ to アート展」を開催し、障害のある人の社会参加と障害者理解を進めるとともに障害のある人の造形活動の裾野拡大および発掘を促進。
- 滋賀の魅力と歴史遺産の価値を県内外に向けて情報発信していくため、市町が行う「世界遺産」や「日本遺産」の登録・認定申請にかかる助言、連絡調整等を実施。

| | | | |
|------------------------------|------|-----------|------|
| 比叡山延暦寺 | 世界遺産 | 平成 6 年認定 | ユネスコ |
| 琵琶湖とその水辺景観－祈りと暮らしの水遺産 | 日本遺産 | 平成 27 年認定 | 文化庁 |
| 忍びの里 伊賀・甲賀－リアル忍者を求めて－ | 日本遺産 | 平成 29 年認定 | 文化庁 |
| きっと恋する六古窯－日本生まれ日本育ちのやきものの産地－ | 日本遺産 | 平成 29 年認定 | 文化庁 |

② 美をきっかけに、人と人、人と地域がつながり、地域の魅力を発信

- 美をきっかけに人と人、人と地域がつながって、地域の魅力を引き出し発信するため、県内の団体等が美術や暮らし・生活文化の中にある美の資源を育てたり、発信したりする活動を公募し、支援するとともに、この活動をさらに発展させるため、ネットワーク化や広域展開を図る「地域の元気創造・暮らしアート事業」を実施。



<地域資源を活かした「美」のプラットフォームづくりの事例>

- ・空き店舗となっていた施設をリノベーションし、その拠点を活用した展示やワークショップを開催
- ・廃校を活用した音楽会や展覧会の開催
- ・町家を活用した現代アートの祭典
- ・大学生が県内の暮らしや生活の文化をリサーチした展覧会の開催



SHIGARAKI INSPIRATION 展 (空き店舗を活用した地域の拠点づくりと展覧会等の開催: 信楽まちづくり Lab)



芸術村 IN 余呉 (廃校を活用した音楽会や展覧会の開催: 特定非営利活動法人芸術村 IN 余呉実行委員会)



国際芸術祭 BIWAKO ビエンナーレ (町家や蔵を活用した国内外のアーティストの作品展示: 特定非営利活動法人エナジーフィールド)



MUSUBU SHIGA 空想 MUSEUM (大学生が県内の文化をリサーチした展覧会: 成安造形大学)

- 美術館と地域の施設や団体等との連携を深める「新生美術館見本市(美の糸ローアートにどぼん!)」や「アウトリーチ事業」等を実施。

③ 新たな集まり(座)の形成

- アートや文化の活動を行う人々が、「美」を通じた地域づくり(「美の滋賀」づくり)に向けた情報や意見を交換したり、相互のつながりを深めたりする「『美の滋賀』づくりフォーラム」や「地域の元気創造・暮らしアート事業推進員会議」を開催。



地域の元気創造・暮らしアート事業の採択団体が意見や情報を交換する事業推進員会議



地域の元気創造・暮らしアート事業の採択団体が取組事例を報告する成果発表会



「美の滋賀」の発信や滋賀の魅力向上について考えるフォーラム

- 美術、福祉、医療、研究機関、行政など、異なる分野や立場の人々がつながって、アール・ブリュットを支える環境全体を底上げしていくことを目指し、「アール・ブリュットネットワーク」を設立。フォーラムや会員交流会のほか、会員向けにメールマガジンを発行。

<アール・ブリュットネットワーク概要>

設立年 :平成 25 年 2 月
 会長 :青柳正規氏(前文化庁長官)
 会員数 (平成 29 年 7 月 28 日現在)
 :団体 180/個人 546/情報会員 667 計 1,393



アール・ブリュットをはじめとする文化芸術と社会について考える講演会



アール・ブリュットを取り巻く社会の状況や環境整備について考えるシンポジウム



創作活動の支援や発表方法について意見や情報を交換する会員交流会